

④施設・事業所の特徴的な取組

保育理念の元、各地域の保育ニーズに合わせて全国 23 か所で、保育・教育活動を展開子ども達が安心して過ごせるように家庭的な雰囲気や大事にしている。一時保育事業など園を利用してない家庭への支援も積極的に行っている。保育の質の向上の為、第三者評価受審、保育事例研修などを通年を通して行いまとめ、発表・検証をしている。こうさい保育セミナーを定期的開催し、学びの場として生かすようにしている。(専門の先生を招いての意見交換会等を実施し、気づきが多く持てるようにしている)その取り組みが、子育て支援の技術向上やその発展の為の取り組みとしてつながっているように考える。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 4 年 8 月 23 日 (契約日) ~ 令和 4 年 11 月 29 日 (評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	3 回 (平成 30 年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 保育業務支援システム(情報通信技術)の活用について

保護者の利便性向上と職員の業務負担軽減を目的とし、保育の業務支援システムを昨年から導入しています。子どもの活動を写真で記録して、コロナ禍でも保育内容を「見える化・スピード化」することができる機能等を活用することで職員間や職員と保護者間で保育内容の共有ができるようにしています。園の玄関内に設置しているタブレット端末に保護者のスマホをかざすことで子どもたちの登園・降園の確認をすることができます。また業務支援システム利用で子どもや保護者の安否確認や災害情報収集も行ったり、子どもや保護者の安全確保を図ることができ保護者から感謝の声があがっています。安全安心に繋げられる業務支援システムの利用範囲を更に広げながら、職員はその分子どもに関わる時間と心のゆとりが増えてより豊かな保育に繋がっています。

2. 山形駅との交流から見える子どもの成長について

園長は子どもたちがイベントに参加できるような情報収集をするため、山形駅に足を運び交流に結びつけており、子どもたちが新幹線開業記念セレモニーや一日駅長として参加するなどの交流をしています。また駅長自ら園を訪れ、参加できなかった子どもたちにも子ども用の駅長制服・制帽を着用させて記念撮影をしたり、手作り新幹線に乗って夢を膨らませながら出発進行などで交流を深めており長年継続しています。駅長と子どもたちとの交流の様子を園の母体である鉄道弘済会の広報紙こうさいの「地域に密着!イベントだより」に写真入りで掲載されています。子どもたちそれぞれが体験し想いを抱きながら年長児は下の子をいたわり面倒を見るなど成長しています。

3. コロナ禍での運動会開催で得られたことについて

園の運動会はこれまで陸上競技場を借りて盛大に実施していたがコロナ禍で自粛していました。今年度は規模を縮小し園庭を利用して、保護者会が打ち合わせして役割分担をし事前の整備、後片付けなどをしてもらい、家族等の参加を保護者1名に制限し、さらに感染症対策をしながら開催しています。その結果、子どもへの応援や写真撮影等の際には、子どもたちの出番ごとに、保護者自らが密をさけ交互に譲りあい、応援は自分の子どもだけではなく皆に声援を送るなどで、保護者同士の温かい交流で協調性が生まれ、園への理解と信頼が深まっています。また縮小したかたちの運動会でも大変良かったと感動と共に感謝の言葉が多く寄せられたこと、保護者の前向きな姿勢に変わってきたことなど、子どもと共に保護者の成長も見られます。

◇改善を求められる点

1. 保護者調査からの意見や要望について

保護者調査から各種の意見や要望等が見られます。保護者の思いに寄り添い、全職員で現状の関わりに満足せずこれらの内容を考慮し、反映させるような取組に期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

たくさんの項目について評価をいただきましてありがとうございました。
職員一同あらためて保育指針や作業手順・各種マニュアルなどについて勉強させていただきました。また、受審させていただきました当園の強みと弱みも知ることができました。
今後とも、ご利用者様・地域のみなさまから愛されるこども園となるよう職員一同前向きに取り組んでまいります。

⑧評価細目の第三者評価結果

別紙のとおり

【共通評価項目】

評価細目の第三者評価結果

※すべての評価細目（45 項目）について、判断基準（a の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 理念や基本方針を保育室ごとに掲示し、職員や保護者等も確認することができる。また新年度の勉強会や会議・研修会時にも確認している。地域へは「あすなる通信」を回覧板で、スーパーやベイカリーにも置いてもらっている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 園長は、法人本部と連携をとりながら園長会議に参加し、経営状況の把握と確認をしている。月 2 回の職員会議には、園長会議の内容・状況を周知し、市のホームページで定員状況の把握や子どもの利用開始なども理解と共有を図っている。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<コメント> コロナ禍にあつて、空調設備(エアコン)の整備について予算計上し認められ、高性能な物に交換するなど環境整備に努めている。園長や主任を中心に園内研修を毎週行い、質の向上に向けた取組を実施している。また職員の検討の場を設け、意見等をくみ上げている。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>中・長期計画は、法人本部・東北支部を通じた事業計画を踏まえ、園独自の皆でやる実行計画を作成し、主な事業として空調設備工事・地下水利用する掘削工事などは既に済ませ、今年度は数年中止していた運動会を実施している。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p><コメント></p> <p>単年度の事業としては、コロナ禍でも保護者からの要望に答えるべく規模を縮小して運動会を実施している。園庭での開催のため、保護者の人数制限と感染症対策をしながら行った結果、保護者の理解や感動を得て成功と同時に信頼関係に繋がっている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<p><コメント></p> <p>事業計画の策定には、職員の参画により意見の集約を行い反映に繋げている。事業計画実施状況の評価や見直しは、職員全体で随時行いながら子どもたちや保護者の利益に繋がるように鋭意研鑽に励んでいる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p><コメント></p> <p>事業計画は、新年度や保護者会に資料を添付して説明している。また分かりやすいように、具体的に写真入りの資料や大型モニター(スライド)を使って説明し理解をしてもらっている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p><コメント></p> <p>職員に対してDVD研修案内を行い、園内研修を全員が受けられるように年間20数回開催している。法人本部や市の監査を受け、評価指導などの報告により改善を行っている。また法人本部からのインターネット配信の勉強会等で質の向上に努めている。</p>		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p><コメント></p> <p>福祉サービス第三者評価を受審して気づきや課題を職員への周知と共有を図っている。福祉サービスの質の向上に向けて職員参画のもとで改善策や計画に繋げている。あすなろ園実行計画を策定し、子どもや保護者等の最善の利益に繋がるよう努め、できなかったことは次年度に達成できるようにしている。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント></p> <p>園長は、職員や保護者から意見や相談を出しやすいように、登園・降園また保育中でも挨拶や交通整理などを通して姿勢を観てもらっている。また園長としての挨拶や役割・責任等について、あすなろだより等を通して掲載している。有事の際の権限移譲も明確化している。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>法人本部の園長会議においてハラスメント防止研修を受講し、職員に対しても研修会を開いて伝達している。法令遵守の研修会は毎年実施し、職員の綱紀粛正を図っており、また事あるごとに周知徹底し事故の無いように努めている。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント></p> <p>園長は職員のみならず幅広く保護者等と対等に会話ができるように、自ら話しかけをして意見等を出しやすくできるように心掛けている。職員全体が事業計画や保育計画等についてマンネリ化を防ぐため、会議や研修を通して園の実行計画の推進を図っている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント></p> <p>園長は経営の改善に取り組み施設設備等の整備をしている。退職や休職が発生することを考慮し、今から人材確保の検討や人材育成を行っている。人事評価や労務・財務管理を行って職員が安心して仕事に専念できるように配慮して園全体を護っている。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p><コメント></p> <p>現在、子どもに関わる職員は全員有資格者で定着率も良くベテランが多く定員も満たしているが、若い職員の育成にも取組、園内のそれぞれの職務を少しずつ交替するなど将来を見据えて計画的に実行している。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>「あすなろ園」実行計画の中に「チーム全員が行う」(10項目)として職員像を明記し、行動指針としている。法人本部の人事考課制度様式に沿って職員は年2回前期・後期に目標と課題を掲げ、園長は面談して評価を行っている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
<p><コメント></p> <p>園長はハラスメント研修会での情報を全職員に配布して説明し、また本部主催の「ストレスチェック」を職員一人ひとりに行ってもらうなど心身の健康にも配慮している。ほとんどが女性職員で育児休暇や急な休みの他、有給休暇・早番・遅番・土曜日出勤などのシフト希望にもなるべく沿えるようにチームワークで取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>職員は前期と後期に目標と課題を作成して園長との面談で進捗状況を確認し、月末に保育の「受容度チェック表」で自己評価して質の向上に繋げている。クラス担任は若手とベテラン職員を組み合わせることでバランスをとり育成を図っている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p><コメント></p> <p>年間研修計画に基づいて内部研修が定期的に行われ、外部研修はコロナ禍でオンライン開催の場合は多くの職員が一斉に受講できる利点を利用して学んでいる。研修後に提出してもらった報告書には園長からのコメントが必ずあり、職員の励みになっている。</p>		

19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p><コメント></p> <p>認定こども園移行にあたり、幼稚園教諭2種免許の更新研修を保育士が交代で受講し取得している。メンター・メンター制(新人をサポートする専任者)を取り入れ、新任の職員には1対1で先輩職員が指導を行っている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<p><コメント></p> <p>マニュアルは整備されており毎年数名の実習生の受入れを行い、保育の他に厨房で調理体験もしてもらうなど充実した内容になるようプログラムを考慮し、採用に繋がった例もある。事前に保護者・子どもに説明し、子どもたちは実習生に名前を覚えてもらうと嬉しそうな笑顔が見られる。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>法人本部・あすなろ園共にホームページを開設して最新の情報を発信している。福祉サービス第三者評価を5年ごと定期的に受審しており、事前に職員全員で勉強会を開催して全項目について意見交換しながら自己評価をまとめ、評価結果を公表している。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>法人の職制・園の職務分担表に職名・権限・責任を文書化し明確にしている。予算・決算を含めた運営・財務管理は法人本部がしており、専門家による監査も行われている。園内での現金出納は少額でも複数の職員によるチェック体制が行われている。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>山形駅のイベント・地域公民館での出前保育・老人福祉施設への訪問・異年齢児交流など毎年恒例行事となっていたが、現在はコロナ禍で対面での交流は自粛している。出前保育では公民館を通して文書での育児相談や老人福祉施設とは手紙や手作り作品の交換など、工夫しながら継続し以前のような再開を待ち望んでいる。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p><コメント></p> <p>現在はコロナ禍で外部のボランティア受入れは中止しているが、保護者から園の実習畑での草取りや野菜の植え付け・収穫の手伝いがある。今年の運動会は園庭での開催だったため保護者会が打ち合わせして役割分担し、事前の整備・後片付けなどの協力があり大きな力となっている。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p><コメント></p> <p>山形市民間立保育園認定こども園協議会に参加し、定期的開催され情報交換している。園での様子や市の健康診断などから個別的な配慮を必要とする子どもが数名おり、保護者と協力しながら関係機関からアドバイスを受けるなど連携して取り組んでいる。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>地域向けに作成している広報紙「あすなる通信」は毎月発行し地区の回覧板や公民館・商店・老人福祉施設などに掲示してもらい、園の情報を発信している。地区公民館との共同事業として登録してある親子との出前保育は現在コロナ禍のため出張は中止しているが、文書でのやり取りで育児相談にのるなど工夫しながら継続している。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>山形市からの委託で子育て支援事業として特別保育(障がい児保育・一時預かり保育)と保護者等のニーズに応じて早朝・延長保育を実施している。赤い羽根協同募金活動に参加し、駅前での街頭募金は子どもたちの貴重な経験になっている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>保育理念に基づいて、各クラスや週ミーティングにて情報を共有しながら子どもを尊重した保育に取り組んでいる。子ども一人ひとりの成長過程や家庭の状況等にも配慮している。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>保護者に個人情報保護に関する説明を行い同意を得て、プライバシーに配慮した取組を行っている。職員研修を定期的実施し、全職員が共通の理解をもちながら保育に取り組んでいる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p><コメント></p> <p>入園希望者には、見学時に個別に説明している。見学対応マニュアル(手引き)に沿って 職員の誰でもいいに説明できる体制をつくっている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p><コメント></p> <p>新入園児の保護者には、重要事項説明書に沿って大型モニター(スライド)でわかりやすく説明し同意を得ている。保育内容の変更時には園内の掲示板や情報システム(連絡帳等)を活用して保護者へ連絡している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>保育所等の変更にあたり、関係機関と連携しており、見学やケース会議を通じて保育の継続性に配慮しながら受入れも行っている。園を変更した後も相談の担当者や窓口を設置し対応している。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>行事などでのアンケートや保護者への報告を通して子どもの満足度を把握し、検討のうえ改善を図っている。定期的に保護者と個人面談(前期・後期)を実施し、家庭との情報の共有化も図りながら利用者満足の上昇に向け取り組んでいる。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p><コメント></p> <p>玄関に意見箱を設置しているほか、第三者委員による苦情処理委員会を年4回開催し、苦情解決の仕組みが確立されており、結果も公表している。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p><コメント></p> <p>日常的に送迎や玄関前で積極的に挨拶したり傾聴する体制で取り組んでおり、相談の希望時にはプライバシーに配慮し相談室で個別に対応している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p><コメント></p> <p>保護者等からの相談や意見について、情報を共有する体制で取り組んでおり、検討結果を迅速に報告している。検討に時間を要する場合には状況を説明のうえ対応している。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p><コメント></p> <p>事故発生時の対応マニュアルが周知されており、事故発生を未然に防ぐため、「危険への気づき」の意識をもちながらインシデント(ヒヤリハット)を検証し、迅速に対策を講じている。時間を要する場合等は、法人本部・支部に報告し確認のうえ対応している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時におけるこどもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>看護師を中心に感染症予防等に関する勉強会を定期的実施し、その対応について周知している。感染症等の情報については、子どものプライバシーに配慮のうえ保護者へも提供し、相互に予防等に取り組んでいる。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a
<p><コメント></p> <p>防災計画が策定されており、毎月防災訓練を実施している。備蓄品の他にテントや発電機も備えており、訓練にて全職員が発電機を使用できる体制をつくっている。職員の緊急連絡網(ライン)からの情報をもとに、保護者へも情報提供できるネットワークを構築している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p><コメント></p> <p>保育について標準的な実施方法が文書化され、園内に掲示している。標準的な実施方法について、ミーティングや勉強会においても職員へ周知し、個人ごとにファイリングもしながら共通の理解に基づいて取り組んでいる。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント></p> <p>標準的な実施方法の見直しについては、週ミーティング等にてクラス間で実施している。園全体として、月末の打ち合わせ会にて保育経過など情報共有しながら検討・見直しする仕組みが確立されているが、保護者アンケートから見える思いについても寄り添い、反映されるような体制に期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a
<p><コメント></p> <p>年間指導計画に基づいて年齢別保育計画が作成されている。個別面談等にて状況を把握し、計画の振り返りを実施している。個別的な配慮を必要とする子どもについて関係機関と情報交換しながら対応している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p><コメント></p> <p>定期的な指導計画の見直し等については、クラス会議で実施している。また計画の評価・見直しにあたっては、子ども・保護者のニーズに応え次の指導計画に繋げている。</p>		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
<p><コメント></p> <p>子どもに関する保育の実施状況については、保育実施記録・個人記録(発達の記録)等はパソコンで記録しており、職員間で情報共有している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p><コメント></p> <p>定期的な職員研修の場においても個人情報保護方針の遵守について理解したうえで間違いのないように取り組んでいる。子どもに関する記録(個表等)については、年度ごとの管理で適切に保管されている。</p>		